

介護事故の原因分析と再発防止策検討

－ 簡単で効果的な事故カンファレンスの方法 －

2023年10月1日～11月30日の限定配信で3,300円

事故が起きたら事故カンファレンスを開いて、事故原因を分析し再発防止策を検討しなければなりません。運営基準でもそのように決められています。しかし、事故発生後に事故カンファレンスがきちんと開かれている職場は少ないのが現状です。なぜ事故カンファレンスができないのでしょうか？それは事故カンファレンスの進め方を知らないからです。

いきなり事故報告書を持ち寄って頭を突き合わせても、良い再発防止策が思い浮かぶわけがありません。どのように原因分析をして、どのように再発防止策を検討したら良いのでしょうか？本セミナーでは、30分でできる事故カンファレンスの方法をご紹介します、7つの事件事例で模擬カンファレンスを行います。

動画セミナー提供方法

- 提供対象：安全な介護にゆうす読者
- 配信期間：2023年10月1日～11月30日
- 提供資料：セミナーテキスト・お役立ちツール
- 提供価格：3,300円（税込）9月22日メ切
[施設・事業所単位でお申し込みください]

※安全な介護の顧問先法人は無料です

- 申し込み方法：下記URLからお申し込みいただき、9月25日までに、所定口座に配信料をお振込みください。視聴データ・テキストは、9月末までにメールで送付いたします。

<http://tiny.cc/lgmavz>

動画セミナーの内容

1. 事故カンファレンスの対象となる事故
2. 原因分析の方法
 - ・ 3種類に分けて事故原因を洗い出す
 - ・ 直接原因の背後にある隠れた要因を見つける
3. 再発防止策の検討方法
 - ・ 3種類の防止対策をバランスよく使い分ける
 - ・ 未然防止策 ・ 直前防止策 ・ 損害軽減策
3. 事件事例で模擬カンファレンス
 - ・ 認知症の利用者が肉団子を喉に詰めて誤えん窒息
 - ・ リフト浴の安全ベルトを装着せずに溺水事故
 - ・ ショートステイの認知症利用者の行方不明死亡
 - ・ 利用者を送迎車から降ろし忘れ熱中症で死亡
 - ・ 排泄介助中にセンサーコールに対応したら転落
 - ・ 入浴介助中に職員が足を滑らせ転倒利用者が大ケガ

◎ こんな事故原因を書いていませんか？

離床介助の時、ベッドから車椅子への移乗中利用者が急にふらついたため、職員が支えきれずに転倒させた

事故原因 → 職員の注意が不足していたこと

防止対策 → もっと注意深く介助する

◎ 転倒した原因は職員の不注意と思いついて他の原因を検討していない



◎ 事故防止対策の新しい考え方

1. 未然防止策

事故の根本原因を究明して除去する対策
【例】転倒の原因となる服薬を見直す

対策の効果 効率



2. 直前防止策

根本原因は放置したまま、その場で対処する対策
【例】見守りを強化する



3. 損害軽減策

転倒してもケガをさせない（軽減する）対策
【例】ヒッププロテクター付きのパンツをはく



動画セミナーに関するお問い合わせは

株式会社安全な介護 セミナー事務局

mail:soudan@nanasha.co.jp